



主な内容

施政方針と当初予算	2 ~ 9
ふれあいエコプラザ開業	10
お知らせ	11 ~ 13
声・掲示板	14 ~ 15
情報BOX	16 ~ 19
えな自慢	20



3月9日、串原中学校の卒業式の後、体育館で中山太鼓免許状授与式を開催。卒業生6人は、中山太鼓保存会会長から免許状を受け取りました。式では6曲を演奏。力強く迫力ある太鼓が響き渡りました。卒業生の大島脩斗君は、「太鼓を通して多くのことを学び成長できました。」などお礼を述べました。

東日本大震災の教訓生かし 災害に強いまちづくりへ



▲市議会定例会で施政方針を述べる可知市長

2月27日に開かれた本年第1回市議会定例会で、可知市長は本年度の施政方針を述べ、ことし、どのような考えで市政を進めていくのかを明らかにしました。ここでは、その内容について紹介します。

一般財源を前年度並みに確保

昨年3月に発生した東日本大震災による社会経済情勢の不安、長引くデフレと雇用情勢の停滞やギリシャの財政問題から広がった欧州債務危機問題など、国内外の経済環境は、先行きの不透明感をいっそう強めています。

本市でも、景気低迷などの影響により、ことしの一般会計予算においては、個人市民税が前年比0.3割、評価基準の見直しなどで、固定資産税が4.8割の減収が見込まれます。厳しい市税状況ですが、普通交付税

の増額などにより一般財源を前年度並みに確保しました。

庁舎整備など備えを万全に

ことしは、当市で予想される諸災害に対して備えを万全なものとするため、「災害に強いまちづくり」に向けた諸施策に積極的に取り組むことにしました。これは、東日本大震災の教訓と台風などによる災害、特に、政府の地震調査委員会が発表した東海地震での、30年以内にマグニチュード8クラスの発生確率が8割と前年に比べて1ポイント上昇したことによるものです。

耐震性に乏しい庁舎の整備としては、第2庁舎の整備事業や上矢作振興事務所庁舎移転事業、中コミュニティセンターの耐震補強などを行います。災害時への備えとしては、小中学校の受水槽を緊急時に使えるように弁を設けたり、防災備蓄品や資材を購入したりします。これらには、約3億5000万円の予算を計上し

ました。また方が一、支援が必要な場合に備えては、複数の都市との災害時相互応援協定を結ぶなど市民の安心、安全に向けた対策を多方面から講じます。

国体を機会に当市の魅力を発信

県での開催が47年ぶりとなる第67回国民体育大会が、本市でのスピー

ドスケート競技会開催を皮切りにいよいよ始まりました。特に、スピードスケート競技会は、ぎふ清流国体の最初の開催種目で、全国からも注目を浴びる大会となりました。全市を挙げて精一杯のおもてなしと会場に響き渡る大声援で、選手の皆さんを応援。期間中延べ3万人の来場者を迎えたことで、本大会の成功に弾みがついたと確信しました。ぎふ清流国体の「責任先頭」の役割は、果

たすことができました。競技関係者そして大会をもてなしの心で支えていただいた多くの市民の皆さんに、あらためてお礼を申し上げます。

着実な諸施策の実現に努力

10月6日(土)からまきがね公園で、当市2種目となる弓道競技会が開催されます。スピードスケート競技会と同様に「山紫水明のまち恵那市」の魅力を全国に余すことなく発信するとともに、市民の皆さんをはじめ、本市を訪れる選手や大会関係者の皆さんの思い出深い大会となるよう全力で取り組みます。

ことしも、市総合計画後期計画と第2次行政財政改革大綱に基づき「人、自然、地域が調和した交流都市」の実現に向け、着実な諸施策の実現に努めます。公共施設の統合では、野井保育園を佐々良木保育園と統合し、新しく「みさと保育園」として運営します。また人件費では、職員定員を適正化するなど、削減に努めます。

市総合計画での長期財政計画との整合性を図りながら、「元氣な恵那市」を引き続き情報発信しつつ、「恵那市に住みたい」「恵那市に住んでよかった」と評価いただけるまちづくりを市民の皆さんとともに進めていきます。市民の皆さんの理解と協力をお願いします。



▲10月6日から国体の弓道競技が、まきがね公園で開催。写真は、昨年6月に同会場で開催された全日本勤労者の弓道大会

▲昭和35年に建設された市役所第2庁舎。耐震の指標となるIS値は0.37と、基準となる0.6を大きく下回っているため、整備に取り掛かる





◀緊急用の弁を設置する大井小の受水槽

一般会計264億8千万円 前年度より1.2%増



本年度の市の予算が決まりました。総合計画と行財政改革を着実に前進させ、「人・地域・自然が調和した交流都市」の実現に向け取り組みます。また昨年の東日本大震災や台風災害を教訓に「災害に強いまちづくり」を進める予算としました。

☐問い合わせ 財務課財政係 ☎ 26-2111 (内線352)

市全体では約4億1千万円の増
 予算規模は前年度と比較して、一般会計で3億1,000万円(1.2%)の増額、特別会計で2億6,347万円(1.9%)の増、企業会計では1億6,430万円(2.3%)の減など、全会計の合計では4億9,177万円(0.9%)の増額となりました。

市税は前年度比1.7%の減に

一般会計の歳入では、景気低迷の影響によって、個人市民税が前年対比0.3%の減、評価基準の見直しなどによって固定資産税が4.8%の減になるなど、市税が前年度対比では1.7%の減で、1億2,110万円の減額です。

地方交付税は、国の地方財政対策により、昨年と同程度の地方財源が確保されたことに加え、当市の市税収入の減少や公債費の増加などを踏まえて、普通交付税に1億6,000万円の増額を見込んでいます。

また合併後の新しいまちづくりを推進するために活用する合併特例債は、19億2,220万円を計上しています。

防災対策関連経費を計上

歳出では、防災関連事業として小

を行います。定住対策としては、定住促進住宅建設事業、歴史文化を生かしたまちづくりのためには、岩村藩鉄砲鍛冶加納家の整備や大井宿歴史的建造物の調査、安全な保育環境を保つためには、岩村保育園の大規模改修事業などを新しい事業として計上しています。また本年度は、10月6日(土)から9日(火)まで開催される、ぎふ清流国体弓道競技会の経費を計上しています。

南部地区の簡易水道事業を推進

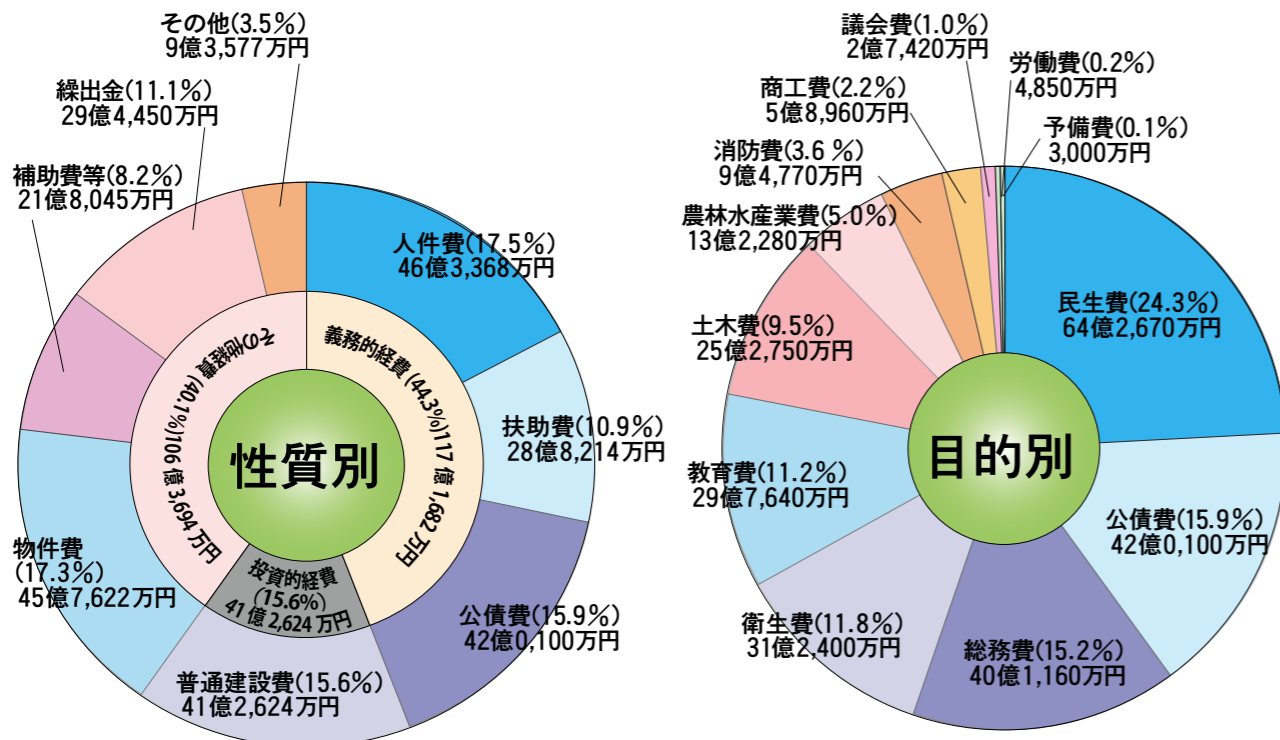
特別会計では、介護保険特別会計事業勘定で保険給付費の増加により、総額が増加しています。簡易水道事業特別会計では、上矢作町の石洞地区と木の実地区で水道区域の拡張のための設計を行うほか、岩村町や山岡町、明智町の統合簡易水道建設に向け事業を進めます。

公共下水道事業特別会計では、奥戸、岩村、明智の3処理区の水処理施設の増設を行います。

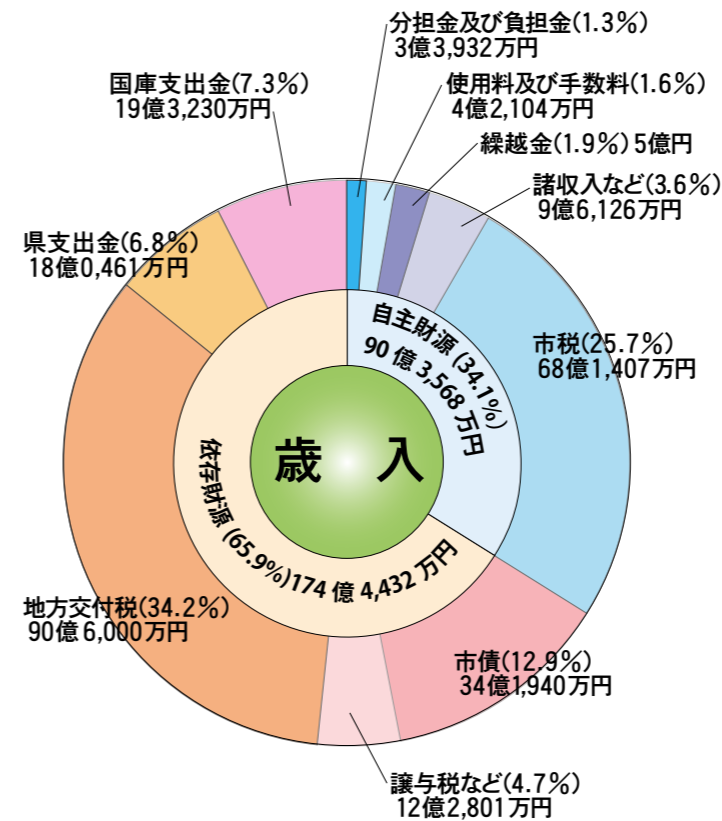
国民健康保険事業特別会計では、保険給付費の上昇による財源不足分を国民健康保険給付基金からの繰り入れにより財源確保し、昨年に引き続き、保険料の改定を行わないこととしました。

企業会計は、病院事業会計で、新病院建設のための基本計画や実施設計の経費などを計上しています。

一般会計歳出



一般会計歳入



平成24年度会計別予算額

会計	予算額	増減率
一般会計	264億8,000万円	1.2%
特別会計	144億0,139万円	1.9%
国民健康保険事業特別会計	56億8,150万円	△2.6%
介護保険特別会計	50億6,340万円	1.1%
簡易水道事業特別会計	11億1,490万円	16.0%
農業集落排水事業特別会計	2億9,070万円	△0.4%
駐車場事業特別会計	3,040万円	△3.5%
公共下水道事業特別会計	15億8,820万円	12.5%
遠山財産区特別会計	550万円	△29.9%
上財産区特別会計	119万円	△45.2%
後期高齢者医療特別会計	6億2,560万円	5.9%
企業会計	70億2,620万円	△2.3%
水道事業会計	収益的収支 8億4,210万円 資本的収支 2億3,880万円	1.3% △51.6%
病院事業会計	収益的収支 40億0,200万円 資本的収支 2億4,820万円	△1.3% 66.4%
介護老人保健施設事業会計	収益的収支 5億0,390万円 資本的収支 3,900万円	2.3% △2.3%
国民健康保険診療所事業会計	収益的収支 6億7,320万円 資本的収支 3,850万円	0.7% 40.5%
介護老人福祉施設事業会計	収益的収支 4億1,900万円 資本的収支 2,150万円	1.5% 9.1%
予算総額	479億0,759万円	0.9%



▲大井宿周辺に点在する町家建造物を調査

岩村町や山岡町、明智町で行っている地域まちづくり事業は、岩村地区が5カ年計画の最終年となり、新たなまちの魅力の磨き上げに取り組みます。また中山道大井宿周辺に点在する町家建築の歴史的建造物の調査を行い、歴史的なたずまいの維持向上に取り組めます。

東海地震などの大規模災害に備え、各地区に防災備蓄倉庫を整備します。また県が指定した土砂災害等警戒区域でハザードマップを作成

豊かな自然と調和した安全なまち(生活環境) 大井宿の歴史的建造物の維持向上に着手

し、防災意識の高揚に努めます。移住、定住対策では、空き家バンク事業やふるさと活性化協力隊事業、定住促進奨励金の交付を引き続き行い、新規事業としては、飯地町で定住促進住宅を3棟建設します。

ごみ減量化対策では、完成した常設型資源ごみ回収施設で、ごみの資源化、減量化に取り組めます。

また下水道の3つの処理場で水処理設備を増設し、安定した生活排水の処理向上に努めます。

こんな事業を進めます

事業の名称	予算額
岩村町・明智町・山岡町地域まちづくり事業	6億5,400万円
岩村簡易水道・山岡簡易水道・明智簡易水道統合事業	2億8,900万円
定住促進住宅建設事業	4,900万円
防災備蓄倉庫整備事業・土砂災害ハザードマップ整備	2,000万円
公共下水道奥戸処理区建設事業	1億7,000万円
特定環境保全公共下水道明智処理区建設事業	1億6,100万円
合併浄化槽設置補助事業	8,700万円
し尿投入施設建設事業	1億2,500万円
住宅用太陽光発電システム設置補助事業	2,900万円

健やかで若さあふれる元気なまち(健康・福祉)
環境を整備し地域での子育てを支援

親子が健やかに育つ環境を整備し、子どもを地域で守り、育てるための情報交換や仲間づくりを進めるため、地域による子育て支援策を進めます。放課後児童対策として手狭になった長島学童保育所を新たに設置する他、老朽化した岩村保育園の大規模改修を実施し、安全な保育環境の確保を図ります。

保健指導では、健康的な生活習慣を身に付け、生活習慣病を予防するために特定健康診査や特定保健指導

を進め、受診機会の拡充と受診率の向上に取り組みます。予防接種では、子宮頸がん、小児用肺炎球菌、インフルエンザの予防接種を継続実施します。

高齢者福祉では、高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活ができるよう、人と人とのつながりを大切にしたい施策を進めます。

地域医療の推進では、医療の安定確保を図るため、恵那病院の再整備に着手します。

こんな事業を進めます

事業の名称	予算額
子どものための手当給付事業	10億4,400万円
子ども福祉医療費助成事業	2億3,600万円
妊産婦健康診査、母子健康指導、乳幼児健診事業	6,600万円
放課後児童対策事業、放課後児童クラブ施設整備事業	4,700万円
公立保育園の改修・改築事業	2,800万円
健康増進健診事業	3,700万円
特定健康診査・特定保健指導事業	5,400万円
予防接種事業	1億4,200万円
市立恵那病院再整備事業・病院整備出資事業	6,400万円

▼改修する岩村保育園の園舎



▶5年計画の最終年となる岩村町まち並み整備事業

と、民生費が24・3%を占め、続いて公債費が15・9%となっています。

民生費では、改正された障害者自立支援法

の全面施行により、サービス給付費の伸びが大きな要因となり増額しています。生活保護費や福祉医療費が増えたことも要因の一つとなっています。

公債費は、元金償還が増加しましたが、現在の長期財政計画では、平成25年度まで増加する傾向で、その後減少すると見込んでいます。

総務費は、5年計画の最終年となる岩村町まち並み整備事業や上矢作振興事務所庁舎移転事業などが増額となっています。衛生費ではし尿投入施設建設事業やエコセンター恵那の設備更新などで増額しています。

教育費は、小中学校の防災工事、コミュニティセンターの耐震補強工事の他、岩村藩鉄砲鍛冶加納家や正家廃寺跡の整備などの文化財保護事業

を増額しています。なお歳出総額264億8000万円は、市民一人当たり換算すると48万3715円となっています。

職員人件費が1億8千万円の減

義務的経費では、人件費が定員適正化計画により1億7800万円の減額となりました。扶助費は、障害者自立支援給付費や福祉医療費、生活保護費の上昇などにより、1億1800万円増加しました。

投資的経費では、岩村町まち並み整備事業、し尿投入施設建設事業やコミュニティセンターの耐震補強工事の他、大井町の神ノ木橋架け替え事業や東野の市道畑畑笠作線の改良事業などにより前年度から高い伸びとなりました。

自主財源は34%、依存財源が66%

市税収入や分担金・負担金、使用料・手数料や繰入金などを合わせた自主財源は34・1%、地方交付税や地方債、国県支出金などの依存財源は65・9%となっています。

市税収入は、市民税では景気の低迷により個人市民税が減額、法人市民税には回復傾向が見られ、前年比2・5%の増額となる見込みです。固定資産税は、評価替えの影響により前年比4・8%の減額で、市税全体では1・7%の減額を見込んでいます。普通交付税は、税収の減や公債費の増などから2・0%の増を見込んでいます。

県支出金は、緊急雇用対策補助金や木材公共施設整備事業の終了により、前年比10・9%の減少となっています。また市債(市の借金)は、前年比5億9970万円(21・3%)

増の34億1940万円を計上していますが、後年度に交付税措置のある過疎債や合併特例債など有利な起債を多く活用し、将来の負担が重くならないよう配慮しています。

目的別では民生費が全体の24%

一般会計の歳出を目的別に見ると、民生費

市民1人当たりの額(年間)	
納める市税の額	使われる金額
固定資産税 60,518円	民生費 117,398円
市民税 49,234円	公債費 76,740円
市たばこ税 6,710円	総務費 73,281円
都市計画税 4,861円	衛生費 57,067円
軽自動車税 2,276円	教育費 54,370円
その他 875円	その他 104,859円
合計 124,474円	合計 483,715円

※平成24年1月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の人口、54,743人で計算しています



▲上矢作振興事務所が移転する上矢作コミュニティセンター

協働のまちづくり方針に基づき、地域自治区の充実と市民公益活動の支援を行います。県からNPO法人の認証事務などの権限委譲を受け、NPO法人のまちづくり活動を支援します。13の地域自治区で展開されている地域づくり事業は、引き続き地域の発展、活性化のための活動、まちづくり市民活動推進助成事業の充実を図ります。財民間都市開発推進機構の資金を活用して、地域のまちづくり拠点の整備などに助成を行います。

健全で心の通った協働のまち(市民参画)
地域の発展と活性化のための活動を応援

また老朽化が著しく耐震性に乏しい市役所第二庁舎は、本年度中に新築に向けて着手します。上矢作振興事務所庁舎は、上矢作コミュニティセンターへ移転統合し、再整備を行います。

昨年度から始まった第2次行財政改革大綱により、将来にわたって安定的に行政サービスを提供し続ける自治体経営を目指して、行財政改革を着実に進めます。

こんな事業を進めます	
事業の名称	予算額
地域づくり推進(基金活用)事業	4,000万円
地域振興基金活用の積み立て	3億5,700万円
NPO支援・育成事業	3,000万円
放送運営事業	1,000万円
国際交流・多文化共生の推進事業	210万円
国際化に対応できる人づくり・まちづくり事業	370万円
市議会議場音響・議会中継整備事業	2,900万円
市役所庁舎新館建設事業	3,800万円
上矢作振興事務所庁舎移転事業	8,500万円

「三学のまち恵那」宣言の基本理念を實踐するため、地域での市民三学塾を開催するなど、市民三学運動を進めます。また中央図書館や地区コミュニティセンターの図書購入、各学校を巡回する司書を配置して、図書室の運営や読書活動を支援します。中央図書館の蔵書数は、本年度中に目標の20万冊に達します。コミュニティセンター改修事業では、施設をより安全に利用していた

思いやりと文化を育む人づくりのまち(教育・文化)
「三学のまち恵那」宣言を實踐し生涯学習を推進

「三学のまち恵那」宣言の基本理念を實踐するため、地域での市民三学塾を開催するなど、市民三学運動を進めます。また中央図書館や地区コミュニティセンターの図書購入、各学校を巡回する司書を配置して、図書室の運営や読書活動を支援します。中央図書館の蔵書数は、本年度中に目標の20万冊に達します。コミュニティセンター改修事業では、施設をより安全に利用していた

こんな事業を進めます	
事業の名称	予算額
学校教育情報化推進事業	2,200万円
少人数指導教育推進事業	2,500万円
小中学校施設防災機能確保事業	1,600万円
地区コミュニティセンター改修事業・バリアフリー推進事業	2億4,900万円
中央図書館読書活動推進事業	4,300万円
岩村城下まちなみ保存事業	4,800万円
市指定文化財保存整備事業	8,300万円
正家廃寺跡保存整備事業	2,300万円
ぎふ清流国体推進経費	1億3,000万円

▼子どもたちの読書活動を支援(写真は恵那東中学校の朝読書)



▲グリーンピア跡地(中野方町)に総面積20畝の栗園を造成

地域の資源を生かし、市の個性を発揮して魅力あるまちとするため、「恵那ブランド」の開発に取り組んでいきます。既にブランドとして確立した「山岡細寒天」、「恵那栗」の販売促進をはじめ、新しい特産品の開発と普及PRを進めます。

中野方町のグリーンピア恵那跡地を活用した恵那栗園の整備では、本年度から県の中山間地域総合整備事業の本格実施とともに総面積20畝の栗園造成に取り組みます。

活力と創造性あふれる魅力あるまち(産業振興)
地域の資源を連携し「恵那ブランド」を開発

イノシシや猿、カラスによる農産物被害対策事業は、本年度も電気柵の設置補助、捕獲檻の貸与や狩猟者の支援と育成に取り組んでいます。恵那テクノパークの残り1区画は、引き続き立地向け積極的な企業誘致活動に取り組んでいきます。また市内企業の支援のため、市内企業の情報発信と育成に努めます。若年者の地元企業への就職を図るためには、就職情報交換会や面接会など就労環境の充実を図ります。

こんな事業を進めます	
事業の名称	予算額
商店街活性化事業・まちなか市の開催	480万円
企業誘致対策事業	1億1,100万円
一般造林間伐事業	1,900万円
恵那栗栽培の振興	6,400万円
道の駅管理運営事業	1,900万円
農産物鳥獣被害対策事業・有害鳥獣捕獲対策事業	1,400万円
公共林道改良事業	9,300万円
くしはら温泉周辺整備事業	3,400万円
観光PR事業の充実	2,600万円

社会資本整備総合交付金を活用した恵那中心部のまち並み整備事業では、国道19号と主要地方道恵那白川線をつなぐ御所の前牧田線の整備や地域内の生活道路の改修、恵那高等学校周辺の通学路の整備などを、本年度完成を目指して行います。また老朽化した神ノ木橋の架け替え事業を行います。

市道の改良では、国道257号から恵那総合庁舎方面へ連絡する市道袖畑笠作線の改修や恵那テクノパー

クへ連絡する市道平山線の整備、その他の幹線道路、生活道路の整備、交通安全対策などに取り組んでいきます。

また瑞浪恵那道路の早期事業化に向けた取り組みを引き続き進めます。2027年開業予定のリニア中央新幹線を核とした、新しい時代のまちづくりを展望するため、周辺地区の調査やアクセス道路の検討など市の魅力アップにつながる施策に取り組めます。

こんな事業を進めます	
事業の名称	予算額
地籍調査事業	6,400万円
リニアまちづくりの推進	610万円
幹線道路整備事業	3億4,100万円
瑞浪恵那道路の事業化に向けた取り組み	480万円
都市計画道路整備事業	1億1,800万円
生活道路整備事業	1億4,200万円
橋りょう維持修繕事業	3,500万円
恵那東地区まち並み整備事業	3億9,200万円
交通安全施設等整備事業	300万円

▼改良する東野地内の市道袖畑笠作線



歯の無料電話相談を開催

県保険医協会では、4月18日の「418(ヨイハ)」にちなんで、1日限定で歯の何でも電話相談を開催します。

歯についての悩みを、県内で開業している保険医協会会員の歯科医師が相談に応じます。

「寝たきりの方に、歯科往診をしてほしい」「治療をしても歯の痛みがとれずに困っている」「入れ歯が合わない」など、日ごろ気になっていることや、相談できずにいることなど気軽に相談できます。

皆さん、ぜひ活用してください。

□とき 4月15日(日)午前10時～午後3時

□電話番号 058-267-0711

問 県保険医協会 ☎ 058-267-0711

案内

みんなのみち愛護事業で美化活動を応援

年間を通じて道路の清掃や維持活動を行う団体へ、事業費の一部を助成します。

市民の手による道づくりに積極的に参加ください。

□助成内容 作業を行う道路が300m以上で、路肩などの草刈、側溝清掃を年2回以上できること。沿線の花木植栽、維持活動も助成の対象となります。

□対象 自治会や老人クラブ、

有志団体など地域住民で構成された団体(有志団体は10人以上で、会員名簿の提出が必要になります)

□対象経費 保険料(ボラティア保険など)、消耗品費、燃料費など

□助成額 市道1000m当たりに20000円が上限。ただし、国道県道は、10000円が上限です。

年間の活動費が上限額以下だった場合は、その実績額となります。

※予算の範囲内での助成のため、作業延長によっては減額もあります

□申し込み方法 建設課か各振興事務所にある指定用紙に



ふれあいエコプラザが
4月20日にオープン

ふれあいエコプラザが、4月20日(金)にオープンします。この施設は、今まで行われていた日曜日サイクル広場の機能を備え、常設化したもの。古紙や古着など、資源として再生利用できるものをほぼ毎日持ち込むことが可能となりました。

問 環境課 ☎ 26-2111 (内線183)

市消防防災センター南側に整備を進めていた「ふれあいエコプラザ」が完成し、4月20日(金)にオープンします。

3R(スリーアール)の推進拠点として、ごみ減量と環境問題全般の学習と体験の場を提供していきます。3Rとは、環境問題を解決するため、リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の三つの言葉を指します。

県内産のスギやヒノキを使用した建物は、木造平屋建てで、総事業費約2億4600万円を掛けて整備。内部には、資源を受け入れる場所や各種講座など多目的に使える部屋を備えています。

同施設には、新聞や雑誌、段ボールなどの古紙や古着、飲料缶、瓶、発泡トレイなど資源として再生利用が可能な物を持ち込むことができます。また各家庭で生ごみの堆肥化の普及啓発活動や、皆さんから提供していただいた不用品を展示販売するコーナーなども計画しています。

指定管理施設として、NPO法人市民エコ会議が運営をします。

ふれあいエコプラザの利用方法は、本紙4月15日号でお知らせします。

環境負荷の少ないまちを目指し整備した、ふれあいエコプラザ。より多くの皆さんの利用をお待ちしています。

◆ふれあいエコプラザ◆

□住所 長島町正家101-5-3

□利用時間 午前8時半～午後5時

□休館日 月・火曜日(祝日の場合は水曜日)、年末年始

□電話番号 25-1515

場所



▲資源を受け入れる場所



▲路肩の草刈り作業を行う

記入して、建設課へ提出する

□締め切り 5月31日(木)

※毎年助成を受ける場合は、申請が必要になります

問 建設課(内線211)

特別支援学校でボランティア養成講座を開催

恵那特別支援学校では、本校の児童生徒への接し方と理解を深めていただくため、さまざまな講座やイベントを開催します。

皆さん、ぜひ参加ください。

- とき・内容 ▽5月26日(日) ボランティアについての講習会、児童生徒と遊ぼう ▽7月28日(土) 夏祭り ▽12月16日(日) クリスマスコンサート
- ところ 県立恵那特別支援学校(岩村町)
- 対象 高校生以上の方
- 定員 15人程度

中津川市民病院 産科からのお願い

中津川市民病院では、周辺地域の産科の閉院などの影響を受け、当病院の医師が受け持つ分娩件数が限界を超えたため、「里帰り出産をされる方」の受け入れを制限させていただいています。

医師確保に努めていますが、平成24年4月から、産婦人科の常勤医師が1人減少し、2人体制になります。当分の間、安全で安心な分娩を提供するためにも、「里帰り出産の制限」に加え、新たに「分娩の受け入れ制限」をさせていただくことになりました。状況によっては、ことし10月以降の出産予定日の方の分娩予約を、受け付けできない場合もありますのでご了承ください。

患者の安全と、質の高い分娩維持のため、地域の皆さんには大変な心配と不便をお掛けしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

問 中津川市民病院地域医療連携室 ☎ 0573-66-1251、中津川市健康福祉部健康医療課 ☎ 0573-66-1111、恵那市医療管理部病院管理課 ☎ 43-1265

問 恵那特別支援学校 ☎ 43-4857

ニューヨークへ遊学し国際感覚を養う

国際感覚を養うとともに、貴重な経験により青年が大きく成長するよう、県青少年育成県民会議では、青年ニューヨーク遊学支援2012を行います。

□対象 18～30歳で、県内在

住か通勤、通学者、県出身の方(高校生は除く)

□定員 2人

□支援 1人当たり40万円を上限に交付

□締め切り 5月8日(火)

□申し込み方法 電話で、県青少年育成県民会議に申し込む

申・問 県青少年育成県民会議(県環境生活部男女参画青少年課内) ☎ 058-2668-0302

中山道広重美術館

春季特別企画展 名所江戸百景展
4/5(木)～6/10(日)

放生されるための亀が大きく描かれています。「亀は万年」という言葉と、深川万年橋の名をかけたものとみられます。

歌川広重 「深川万年橋」
大判錦絵 吉村コレクション

4月1日(日)、5月6日(日)は、市民の日(市民に限り観覧料が無料です。当日、受付係に「恵那市民です」とお伝えください)

中山道広重美術館 ☎ 20-0522

紹介

平成23年度高齢者叙勲を受章

旭日単光章 平出勇氏

昨年12月に、平出勇氏(上)

矢作町・八十八歳)が地方自治功労による高齢者叙勲を受章されました。

受章に当たり、平出氏のこれまでの功績を紹介します。昭和54年4月から昭和62年3月までの二期8年にわたり、旧上矢作町長として活躍されました。

社会的にも経済的にも変動の大きかった時代に水道施設や医療施設を整備するなど、同町の発展のためリーダーシップを発揮されました。

総務課(内線311)

平成23年度に実施した事業の一覧

事業名	総事業費	交付金額
消防署運営事業	1億9,419万円	1億7,500万円
保育園運営事業	1億1,293万円	1億0,580万円
岩村診療所運営事業	3,808万円	2,000万円
給食センター運営事業	2,831万円	2,413万円
ごみ処理施設運営事業	6,109万円	4,137万円
合計	4億3,460万円	3億6,630万円

電源立地地域対策交付金を五つの事業に活用

この事業は、水力発電施設や原子力発電などの施設の周辺地域へ、公共施設の整備や福祉の向上を図るために交付されます。昨年度は、次の事業に交付金約3億7千万円を活用しました。

水力発電施設の交付金では、ごみ処理施設の運営に活用。原子力発電などの施設の交付金では、消防署や保育園の運営などに活用しました。

企画課(内線331)

市ウェブサイトを一新

市では、市内外への情報提供やPRを強化するため、4月2日(月)からウェブサイトを一新し、運用を開始します。

市安安全全メールと連動して、緊急情報を表示させたり、情報を速やかに誘導したりするなどの分かりやすいウェブサイトを構成を目指

しました。トップページには、市民三学運動の理念である佐藤一斎のメッセージも掲載。ぜひ活用ください。

アドレス <http://www.city.ena.lg.jp/>

企画課(内線314)

▲新ウェブサイトのイメージ

付けてますか火災報知器

昨年の6月1日から、全ての家庭で住宅用火災警報器の設置が義務化となり、市内では、約7割の家庭で設置されました。

まだ設置が済んでない家庭は、火災を早期に発見し大切な財産を守るため、早期に設置しましょう。

☎ 恵那消防署 ☎ 26-0119

案内

孔子祭を開催

知新館の創立から明治維新後の廃校まで続けられ、岩村城築城800年を記念して復活した孔子祭。孔子とその学問を顕彰し、こどもも古式の「積奠の儀」を開催します。午後からは、記念講演会を行います。

【積奠の儀】

- とき 4月14日(土)午前10時～11時半
- ところ 知新館正門前(岩村藩主邸跡)
- ※雨天時は岩村コミセン
- 内容 式典など

▲祭文を読み上げて孔子を敬う

【記念講演会】

- とき 4月14日(土)午後1時半～3時半
- ところ 岩村コミセン
- 講師 小林春樹氏(大東文化大学准教授)
- 演題 『論語』の叡智(ち)について
- 料金 無料
- ☎ 文化課 ☎ 43-2112 (内線322)

障がい者福祉タクシー利用券を配布

市では、重度の障がいのある方に、タクシーの基本料を助成します。

- 内容 乗車1回につき基本料金相当額を助成します。一年間に、48回分の利用券を配布します。
- 利用期間 平成25年3月31日まで
- 対象 ①身体障害者手帳1・2級の手帳のある方②じん臓機能障がい1級から3級で人工透析のため定期的な通院を必要とする方③療育手帳A判定の手帳のある方④精神障害者保健福祉手帳1級の手帳のある方
- ※②の方を除き自動車税の減

合併処理浄化槽の設置補助金

50人槽以下の合併処理浄化槽を設置する費用の一部を補助します。工事を行う前に申し込みください。

- 対象 市内に浄化槽の設置を計画し、公共下水道や特定環境保全下水道、農業集落排水の処理区域外の方が対象です。
- ただし販売を目的とする住宅や、合併処理浄化槽を設置済みか工事着工済みの方、市税などを滞納している方などは補助の対象外になります。
- 補助金額 専用住宅での設置で補助の上限は、次の通りです。
 - ▽5人槽 58万2000円
 - ▽7人槽 66万4000円
 - ▽10人槽 79万8000円
- 締め切り 11月30日(金)
- ※予算の範囲内で補助金を交付します。
- 予算額に達したときは、締

「恵那の農業体験」を企画する団体を募集

市では、定住促進事業の一環として、移住定住希望者を対象とした「農業体験事業」を、年間を通じて企画や運営を行う団体を募集します。

- 団体数 1団体
- 対象 3人以上の農業経験者で構成する団体に、定住促進事業として本事業を意欲的に開催していただける団体。
- 内容 農業体験事業を年間3～5回実施する
- 期間 5月1日(火)～平成25年2月28日(木)
- 委託金額 330,000円(限度額)
- 申し込み方法 ①提案申込書②団体の概要書③事業提案書④事業の概算見積書一を作成の上、持参か電子メール、郵送してください。
- 締め切り 4月20日(金)
- ☎・☒ ふるさと活力推進室(内線382) ☒ kikaku@city.ena.lg.jp

山岡コミセンが移転

市民三学運動の拠点である山岡コミュニティセンターが、4月1日に旧山岡保健センター跡に移転します。

図書や並べる場所を十分にとり、調理室も改修。学びと交流、憩いの館として、ぜひ利用ください。

山岡農村環境改善センター

▲整備された山岡コミセン内の図書室

は、今まで通りに利用ができます。

☎ 社会教育課 ☎ 43-2112 (内線340)、山岡コミセン ☎ 56-2618



市議会のテレビ中継を延長してほしい

以前、ケーブルテレビで市議会のテレビ中継を見させていただき感激しました。

市議会の動きが分かり、市の方向性も見え参考になりました。議員の熱意も伝わってきました。選挙の際に、議員の仕事ぶりや人柄を判断するのに役立ちます。ぜひ続けてください。

「市議会の答弁の全部が放映されているわけではない」と聞きました。本当ですか。残念です。市議会の放映時間の延長をお願いします。

(匿名・岩村町)

答

今までは、直接議場へ来ていただいて、議会を傍聴するしか方法がありませんでした。おとしから、傍聴に来ることが困難な方や、議会



▲市長の施政方針演説

に関心を持っていただくために、ケーブルテレビ(えなっコチャンネル)の「コミュニティ番組」で、本会議初日と一般質問2日目の午前中を録画放映しています。議場に撮影設備がないため、(株)アミックス・コムが撮影しています。一般質問も全て放映できると良いですが、現状では難しいです。おとし、議会の広報を進めるために「広報広聴特別委員会」を設置。インターネットによる議会放映も視野に入れながら検討してきました。その結果、議場に撮影設備を整備します。9月議会からは、市長提案説明と全員の一般質問を、ケーブルテレビとインターネットで録画放映する予定です。(議事事務局)



『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません) □掲載の申し込み・問い合わせ 企画課広報広聴係 ☎26-2111 (内線319)

根の上高原を歩こう (NEWWAY WALK)

12月まで、月に1回「NEWWAY WALK」を開催します。

歩く楽しみを通じて、健康づくりや仲間づくりをしませんか。各コース5キロから12キロ歩きます。 □とき 5月1日(火)、6月7日(火)、7月5日(木)、8月



▲時には道なき道を歩く

パソコンの5月期講座の受講生を募集

パソコンサポートクラブが開催する、5月期講座の受講生を募集します。

【はじめのパソコン講座】 □とき 5月6日(日)、15日(火)、22日(火)、29日(火)午前9時半-11時半(全4回)

【ワードでチラシを作る】 □とき 5月10日-31日(毎週木曜日)午後1時-3時(全4回) □内容 ワード2002を使い、図形や表、イラスト、写真などの挿入方法を学びながらチラシを作ります。

※定員にならない場合は、ワード2002以外のバージョンも対応します

【共通】 □ところ 恵那文化センター視聴覚室 □定員 18人(定員になり次第締め切り) □料金 700円(別途テ

2日(木)、9月6日(木)、10月4日(木)、11月1日(木)、12月6日(木) □時間 午前9時半集合(小雨決行) □ところ 根の上高原芝生広場(ルートは毎回変わります) □料金 ▽初回11000円 ▽2回目以降11500円 □持ち物 弁当、飲み物、雨具

※申し込みは不要です □ゆいす・れくサークル(赤尾袈丈) ☎0573-65-3534

明知鉄道沿線ウォーキング2012

4月から12月の毎月第3木曜日に明知鉄道沿線ウォーキングを開催します。

各コース8から12キロ歩きます。当日の気象や参加者によりコースやルートはさまざまな演出をします。 □とき・ところ 4月19日(木)岩村駅-明智駅(東海自然歩道)、5月17日(木)飯沼駅-東野駅(阿木川ダム)、

6月21日(木)阿木駅-飯沼間(長楽寺)、7月19日(木)野志駅-山岡駅(イワクラの森)、8月16日(木)山岡駅-明智駅(大正村)、9月20日(木)飯沼駅-極楽駅(阿木川ダム)、10月18日(木)飯沼駅-JR中津川駅(竜泉寺峠)、11月15日(木)極楽駅-花白温泉駅(木の実峠)、12月20日(木)東野駅-恵那駅(中山道)

※集合時刻は、明知鉄道恵那駅午前9時27分発に乗り込んだ列車が、ウォーキングスタート駅へ到着する時刻 □持ち物 弁当、飲み物、雨具

※交通費や訪問施設の入館料などが必要です □ゆいす・れくサークル(赤尾袈丈) ☎0573-65-3534

野球子ヤンキーズの会員を募集

野球に興味のある子や野球が大好きな子、野球をやってみたい子は「野球子ヤンキーズ」で一緒に野球を楽しみませんか。

キスト代が必要ですが) □申し込み期間 4月12日(木)午前10時から開講日前日まで。初めて受講する方は、4月28日(土)までに申し込みが優先されます。再受講者の受講の可否は、4月29日(日)以降に連絡します。

【申し込み】 パソコンサポートクラブ ☎090-4265-9727

こぎつねくわーの会の会員を募集

本年度のこぎつねくわーの会の会員を募集しています。

こぎつねくわーとは「わが町恵那で、子どもを産んで育てたい」と思えるまちづくりを目指しています。

私たちの活動に賛同いただける方の会員登録をお待ちしています。会員登録すると、つどいの広場「こぎつねの森」の利用料が不要になるなど、特典があります。 □対象 どなたでも会員になれます。



▲「こぎつねの森」の運動会

第4回のれんアートコンテストを開催

第4回のれんアートコンテストを開催します。

今回は、大井町と長島町が合同で行います。震災復興のれんが気仙沼から届き、復興応援のれんを気仙沼に送ります。富山県南砺市から届いた花嫁のれんを本所に展示します。

【期間】 4月22日(日)-5月13日(日) □ところ 中山道大井宿(長島町中野長島橋から大井町本陣まで) □投票締め切り 5月3日



▲準備運動終了後全員で素振り

□対象 市内在住の小学1-6年生の男女 □練習日 土日、祝日の午前9時 □ところ 永田グラウンド(長島町) (雨天は体育館で行います) ※見学も可能です。興味のある方は気軽に連絡ください

【申し込み】 越智洋一 ☎090-6097-1946

父子家庭の祖父母会

□とき 4月24日(火)午前11時 □ところ 露木淳子宅(大井町)

【内容】 花見 □問い合わせ 露木淳子 ☎26-2660

(午後4時) □オープニングセレモニー ▽とき 4月22日(日)午前10時 ▽ところ 行在所前広場(雨天の場合は行在所内) □「のれんの似合うまち」スナップ写真の募集 ▽期間 4月25日(火)-5月15日(火) ▽受け付け 大井町まちづくり協議会(中コミセン内)

□ウォーキングとおもてなしの日 ▽とき 4月29日(日)午前9時半-11時受け付け) ▽ところ 恵那文化センター集合 ▽料金 500円(特典いっぱい) 「ようこそ袋」付き

【表彰式・講演】 ▽とき 5月20日(日)午前10時 ▽ところ 行在所 □中山道大井宿のれんアートコンテスト実行委員会(小椋日南恵) ☎25-4128



▲家の軒先にのれんを展示

子どもたちも出演した市伝統芸能大会



市伝統芸能大会が2月26日、恵那文化センターで開催。文楽や歌舞伎、囃子、舞など市内の保存会などの8団体が出演しました。大井文楽保存会の上演では、授業で大井文楽を学んだ大井小6年生が上演しました。

みんなの気持ちをそろえて劇を披露



大井幼稚園で2月24日、園児60人が保護者の前で劇を披露する「劇遊び参観」が行われました。園児たちは、劇遊びを通して、みんなで気持ちをそろえて、一つのことをつくり上げるということを学びました。

お気に入りの形にからすみ作り



3月1日、山岡保育園でひな祭りの行事が行われ、園児95人が「からすみ作り」をしました。園児は、からすみを両手で丸め、お気に入りの形に。ウサギや星、キノコなど、さまざまな形のからすみが出来上がりました。

蛍の幼虫を手に乗せて「不気味〜」



東野小学校2年生13人が2月27日、蛍の幼虫とその餌になるカワニナを定蓮寺川に放流しました。子どもたちは、蛍の幼虫を恐る恐る手に乗せ、「不気味」などと大声で叫びながら川に放流しました。



人とまち
恵那の今を
お届けします



大正村の町並みをランナーが駆け抜けた
3月18日、小雨の降る中、明智町で第28回日本大正村クロスカントリーが開催され、県内外から1439人が参加しました。遠方では、北は青森県、西は広島県からの参加もありました。コースは10マイル(約16キ)、6マイル(約10キ)、2マイル(約3キ)の3コース。ランナーは、大正村の町並みを通り、自然豊かで起伏の激しい山道を駆け抜けました。その他、仮装ランナーも出場し、大会を盛り上げました。

募集中

5月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、4月16日(月)までに申し込んでください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
企画課広報広聴係
☎26-2111(内線319)

由貴さん・映美さん
生まれたての笑顔が、流石の笑顔★
はわが家の最高の光
三郷町
熊崎 流聖くん

聡さん・伸予さん
元気でたくましく大きくなってね。
大井町
横井 晃くん

勝彦さん・未奈子さん
一歳おめでとう。父も母もお兄ちゃんも朱里が大好きです。
大井町
仲矢 朱里ちゃん

一徳さん・綾さん
お誕生日おめでとう。ひなは宝物、大好き。
長島町
都築 陽菜香ちゃん

基恭さん・恵理子さん
お誕生日おめでとう。これからみんなをいっばい笑顔にしてね！
大井町
千藤 碧音ちゃん

正和さん・浩世さん
桜我、おめでとう。これからいっばいかわい笑顔を見せてね！！
長島町
中山 桜我くん

裕史さん・めぐみさん
瑞葵一歳おめでとう！お姉ちゃんと仲良く元気が大きくなってね。
長島町
後藤 瑞葵くん

信一さん・希和さん
一歳おめでとう。いつもかわい笑顔ありがとう。
大井町
小島 恭太くん

健輔さん
祝一歳。ポケテツッコんで楽しい家庭を築こうな！！
長島町
波部 純也くん

貴文さん・淳子さん
いつもすてきな笑顔をありがとう。健康にすくすく育ってね。
長島町
内藤 魁琉くん

竜生さん・亜由美さん
一歳おめでとう！！お姉ちゃんとお花がわが家の宝物です。
明智町
小西 華枝ちゃん

俊典さん・芳江さん
華那ちゃんは私たちが家族の大事な宝物だよ。
大井町
鷹見 華那ちゃん

えなの子
笑顔！
HAPPY BIRTHDAY
4月生まれのお誕生日
おめでとう！

1歳になりました
おめでとう！



三郷町野井
今野大喜君 15歳

輝く
90
恵那人



中部運動記者クラブが表彰 ゴルフに魅了されて

毎朝5時のランニングを行い、毎晩9時まで練習に励む今野大喜君。2月に、愛知、岐阜、三重県の新聞社・放送局で構成する中部運動記者クラブゴルフ分科会は、今野君を2011年度優秀選手に表彰した。昨年の中部ジュニア選手権（男子12〜14歳の部）で優勝するなど、一年を通しての活躍が評価された。ゴルフを始めた切っ掛けは祖父に練習場へ連れて行ってもらったこと。小学生のときは、野球に熱中。キャッチャーでキャプテンを任されていた。ゴルフは中学生になってから始めた。野球より楽しかった。祖父から基礎を教わり、下手なりに3年間がむしゃらに練習した。「気付いたらハンディキャップが0になっていった」と振り返る。得意なショットはドライバー。今の飛距離は280ヤードほど。「打球が曲がってもクラブを振り切る。プレーに満足せず、自分がうまいと思わない」よう心掛けている。ゴルフ

「ゴルフでは、大人や年下の選手、年配の方と接し、プレーだけでなく、いろんな話ができるので楽しい」と笑顔を見せる。「練習した分だけ成果が結果に現れる。ゴルフは自分を成長させてくれる」と魅力を話す。「高校3年生でプロテストを受け、海外を主戦場にして活躍できる選手になりたい。叔父（今野康晴プロ・長島町出身）の勝利数を超えたい」と将来の目標を語る。九州の高校へ進学を決めるとき「大変だが、一人で頑張ってきたさ」と家族が背中を押してくれた。「自分で考え、自分の意思で行動できるよう温かく見守ってくれる」と、家族にはとても感謝している。この春からは、福岡県の柳川高校で競技を続け、日本ジュニア選手権の優勝を目指す。

恵那農高が世界らん展日本大賞で最優秀賞



2月に東京ドームで開催された「世界らん展日本大賞2012」のディスプレイ審査オープンクラスで、恵那農業高校が最優秀賞を受賞。作品は、大きな古木を用いて木曾路(恵那)の壮大な自然を表現した大きなものでした。

女城主と武田軍の出会いを再現



女城主の里の岩村町で「ゆかしき里うつくし春」をテーマに、いわむら城下町のひなまつりが始まりました。3月3日には、女城主と武田軍の出会いの再現が日本甲冑武者隊らによって行われ、会場を沸かせました。

活動を終えた少年消防隊に修了証



明智かえでホールで3月11日、市少年消防隊修了式が行われました。活動を終えた隊員には、修了証が渡されました。修了した岩邑小学校6年山本翔太隊長は、消防団長にさまざまな体験への感謝の言葉を述べました。

一堂に成果を発表した文化まつり



3月9日から11日、恵那文化センターと中コミセンで恵那文化まつりが開催されました。ステージでは、合唱やダンス、演奏、民踊など36団体が、練習の成果を披露。会場からは盛んに拍手が送られていました。

園児が真っ赤なイチゴに大興奮



3月22日、武並保育園の5歳児19人が靄郁農園（武並町）でイチゴ狩りを体験しました。園児たちは、ピニールハウスの中の真っ赤なたくさんのイチゴに大興奮。「これおいしそう」と手で取って口に頬張っていました。

先輩の話で受験への気持ちを新たに



岩邑中学校で3月15日、卒業生の話聞く会が行われました。体験を語ったのは、進路に向けて努力した卒業生6人。在校生は、先輩の話聞き、進路の決定と受験に備えて、気持ちを新たにしていました。

※コミセン＝コミュニティセンターの略



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな花 69

シデコブシ

氷河時代から残る絶滅危惧種



▲飯地町の自生地に咲くシデコブシ

ひとくメモ

シデコブシ、ハナノキ、ヒトツバタゴの3種は、そろって東海地域の限られた地域を中心に自生する氷河時代の遺存植物で、絶滅危惧種。このため、東海丘陵要素、または周伊勢湾要素の植物群として、近年研究の対象となっている。

シデコブシは、愛知県、岐阜県、三重県の一部に分布するモクレン科の落葉小高木。湿地周辺を好んで生育するため、丘陵地で湿地が多い東濃地域には、シデコブシの自生地が多くある。日本固有種であり、生きた化石とも呼ばれるほど貴重なもの。シデコブシの名前は、その花の形が神事の四手に似ていることに由来する。市内には、市の天然記念物に飯地町大根シデコブシ自生地と岩村町飯羽間のシデコブシ自生地が指定されている。特に飯地町の自生地は、分布域の中で最も標高が高いところに位置している。



▲春には薄いピンク色の花を付ける

石室千体仏

7年に一度のご開帳

えな自慢
70
えな史



▲1,000体の阿弥陀像が安置される石室

ひとくメモ

往時は、20数人の僧衆によって荘厳な儀式が1カ月間続けられたという。城主の妻楓姫に、恋心を抱いてしまった家老の松平左門が大蛇に飲み込まれてしまい、心労から病の床に就く楓姫の回復祈願と左門の弔いに建立したともいわれている。

岩村町にある経塚。1632(寛永9)年、岩村藩主松平乗寿が岩村城の鎮護と領民の繁栄を祈願して建立。浄土三部経を千部、地中深くに埋蔵し、その上に石室を設け、1,000体の阿弥陀像を安置したという。約110年を経て岩村藩主松平乗賢らにより、1741(寛保元)年に修復再営。石室を改修し、仏像も新しく作って埋蔵した。仏像は中尊1体と小像が1,000体。全仏像とも金彩(金箔)が施してある。7年ごとの春にご開帳され、2週間にわたり千体仏を拝観することができる。岩村城下町の周囲には、このほかに町を守るようにいくつかの経塚が取り巻いている。

7年に1度の石室千体仏のご開帳は、ことし4月22日(日)から5月6日(日)まで行われる。



▲石室の中の金色に輝く仏像

次号は4月15日号
発行日は4月13日(金)です

広報えな No.171
2012年(平成24年)
4月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』4月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.4円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム(閲覧用QRコード)
□お問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

